

平成17年度 事務事業評価表					
〔様式1〕					
記入年月日	平成17年4月22日			記入者	内線 2612
部 名	保健福祉部	課 名	地域医療課	課長名	地域医療係
事務事業名	災害時医療救護体制整備事業				
予算上の事務事業名	災害時医療救護体制整備事業				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			12330	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます				
基本施策名	第3節 市民医療の充実				事業開始年度
施 策 名	第3施策 災害時医療の充実				平成10年度 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等					
災害対策基本法、相模原市地域防災計画					
3 個別計画の概要			概要		
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分 対策 ▼					
5 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)			(2) 対象(誰、何)		
<p>市内において大規模災害が発生した際に多数発生することが見込まれる被災傷病者に対応するための施策。</p> <p>市内2箇所の拠点救護所、24の小学校に開設の救護所において被災傷病者に対するトリアージ、応急処置そして後方医療機関への搬送を行うための体制整備を行う。</p>			<p>対象者 市民(市内在勤者等も含む)</p>		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
<p>災害時医療救護検討会の開催 医師会、歯科医師会、薬剤師会などの医療関係団体により構成。災害時の医療救護対策の推進に必要な事項の協議を行う。年2回開催(6月15日、3月30日)。専門部会2回開催(9月3日、11月9日)</p> <p>救護所における医療救護訓練の実施。 淵野辺小学校で担当スタッフが参集し訓練を行った。(11月28日)</p> <p>医療救護マニュアルの作成 市の従来のもの変わる新たなマニュアルの作成を行った。また医療関係団体においても個別に作成した。</p> <p>救護所スタッフの選任 全救護所に参集するスタッフの選任がほぼ完了した。その他備蓄医薬品更新を行った。</p>					
6 関連・類似事業や他市の状況					
相模原市地域防災計画に基づくものであり、各分野について、それぞれ担当課が個別に対応しているものである。他市においてもシステム、充足度の相違はあるが、それぞれ実施している。また、災害対策は広域的に実施すべきものであり、県等とも連携して実施するものである。					
7 事業費の推移 [単位:千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	6,078	5,665	8,423	10,655	10,655
一般財源	3,578	3,088	4,523	5,655	10,655
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	2,500	2,577	3,900	5,000	0
人件費の合計	2,517	2,403	2,421	2,421	2,421
事業コスト合計(a)	8,595	8,068	10,844	13,076	13,076
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	災害時医療救護体制整備事業			対象名称(単位)	市民(人口)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	8,595	8,068	10,844	13,076	13,076
対象数	611,318	616,355	620,599	623,642	623,642
単位あたり経費(円)	14	13	17	21	21
前年度比		0.93	1.33	1.20	1.00

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	救護所等の運営に係る整備		指標式と指標の説明	16年度まではマニュアル作成、17年度からは訓連実施。ともに進捗の割合を指標とした。	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	5.0	50.0	100.0		
目標	25.0	50.0	100.0	25.0	50.0
目標達成度	0.20	1.00	1.00		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	救護所等の体制に係る整備		指標式と指標の説明	人員の配置、備蓄医薬品の配置の状況を指標とした。目標のうち人員・医薬品の割合をそれぞれ50%とする。	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	50.0	75.0	100.0		
目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
目標達成度	50.0	75.0	100.0		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	[	]：良好な状態を維持する事業			
	[	]：概ね良好な状況である事業			
	[	]：見直しを行う必要がある事業			
	[	]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		本事業は、直接市民の生命にかかわるものである。災害発生時にいち早く行動することが必要であり、医療関係団体との連携が不可欠である。災害に対する備えは最優先課題のひとつにあげられより一層の整備が求められる。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
行政及び医療関係団体の連携を強化し、課題に取り組む必要がある。 非常時を想定した連絡体制・行動様式を定めるとともに、様々な事態に対応可能な即応力をつけるため、スタッフの訓練の実施等が必要である。			動員可能な人員の不足。医療救護活動は発災当初の負傷者の治療等からその後の被災者の健康管理まで長期的にわたるものであるが、応援体制が可能となるまでの発災後2日間の体制の確保に努める。また、備蓄医薬品の不足。通信等遮断時の連絡手段の確保、重症患者搬送体制の確保など解決すべき課題は多い。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			